

年頭のごあいさつ



活力と魅力ある まちづくりを目指して

厚真町議会議長

河村 忠治



新しい公共空間の創造と 明るく自立した地域社会の 実現に向けて

厚真町長

宮坂 尚市朗

町民の皆さん新年明けましておめでとうございます。二〇一一年の輝かしい新春を迎え心からお慶び申し上げます。

昨年は、春先の低温から一転して記録的な猛暑となりましたが、多くの農作物が高温・多雨の影響を受けて減収や品質低下を招く結果となり、酪農でも乳牛の生産量が減少するなど、農業者の皆様には総じて厳しい年となりました。また、宮崎県で発生した口蹄疫は、畜産経営にかつてない不安感や危機感をもたらしましたが、本町では「第三十八回厚真町田舎まつり」を開催直前で中止せざるを得ない状況になるなど、遠く北海道の地域経済にも影響が及びました。

こうした中であって、平成十二年以来の新嘗祭献穀米の指定を受けて、無事献上できましたことは、誠に喜ばしいことであり、良質米生産地としてのプライドを受け継ぎ、新しい歴史を刻むことができました。肥培管理にご尽力いただいた生産者の方には、改めてお礼を申し上げます。

さて、皆様にご心配をおかけしている厚幌ダム建設は、昨年暮れからようやく再検証作業が始まり、今年の春までには北海道としての対応方針が決定される見込みであります。知事の意欲的な発言に大いに期待しているところですが、予断を許さない状況が続いていることは確かであり、また、引き続き関係機関の皆様とともに要請活動に最善を尽くしてまいります。また、農業農村整備予算が縮小する中であって、北海道のパワーアツプ事業の継続と国土交通省北海道局の存続が明らかになったことは、明るい材料でありますので、今後とも道営ほ場整備と国営農業用水再編対策事業の促進に努力してまいります。

昨年からモデル的に取り組んできた「農業者戸別所得補償制度」は、本年度から畑作へと拡大し本格実施されようとしています。戦後農政の大転換であります。一方で、環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）の協議開始が閣議決定されるなど、食糧自給率の向上を目指す新しい「食料・農村の促進」に取り組んでまいります。また、農業者戸別所得補償制度は、本年度から畑作へと拡大し本格実施されようとしています。戦後農政の大転換であります。一方で、環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）の協議開始が閣議決定されるなど、食糧自給率の向上を目指す新しい「食料・農村の促進」に取り組んでまいります。

町民の皆様、明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい平成23年の新春を、健やかに迎えたいと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろから議会に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて昨年を顧みますと、中国・上海万博が開催され、入場者数は大阪万博を抜く7千万人を超えるなど近年の目覚ましい中国経済の発展の中、円高による経済不況や雇用の停滞など日本経済の低迷は依然続いている状況でもあります。

国政においては尖閣諸島や北方領土など現政権における外交・安全保障政策、ＴＰＰ（環太平洋戦略的経済連携協定）参加意向における農業をはじめとする第一次産業への影響などまだまだ不安の残るところでもあります。

国内で10年ぶりに発生が確認された口蹄疫は宮崎県内約1300施設の家牛や豚など約29万頭の家畜が処分され、その痛ましい状況と、飼育に全力を注ぎ込まれていた育成農家の方々の苦悩は心痛むものであり、町内においても感染予防の関係から、田舎まつりや海浜まつりなど多くのイベントが中止となったところでもあります。

また、昨年夏の猛暑や雨による被害は記録的なものが多く、道内農作物への影響もありました。本町においても昨年8月の大雨による災害で、道路・河川・公園等の公共施設や、農業関係では農作物と農業施設において浸水や冠水被害および損壊等の災害が発生しましたが、大災害にならなかつたことに正直胸をなで下ろしているところでもあります。

このような中、チリ鉱山落盤事故での奇跡の救出劇や、衛星「はやぶさ」の人類初の快挙とも言

業・農村計画」やAPEC食料安全保障担当閣僚会議の新潟宣言と反する政策展開に、農政の混乱ぶりが極まった感があります。国を開く前に国内産業の強化・保護を行うことは、政府の責任であると思いますが、今私たちがなすべきことは、経営体質の強化と地域資源の価値の最大化を図ることだと考えています。そのためには生産者をはじめ関係機関の創意工夫と一致協力していくことが必要です。

町民の皆さんから多くの期待が寄せられていた高速大容量通信基盤の整備は、光ケーブルと無線方式で昨年春にサービスを開始いたしました。本年春からBフレッツサービスエリアの拡大を図ります。また本年七月から完全実施される地上デジタルテレビ放送に対応するため、まもなく難視聴地域の共聴施設サービスを開始する予定であり、山間地域においても、情報通信高度化の恩恵が受けられるよう引き続き努力してまいります。

また、少子・高齢化時代にあつて地域の活力を維持するには、若年世代の移住や定住をいっそう進めることが重要であり、新たな住環境の創出としてフォーラム・ビレッジの開発や公営住宅・定住促進住宅の建設に取り組むとともに、認定子ども園の開設や学童保育の充実等、子育て環境の向上を求める声にしっかりと応えてまいります。

上厚真市街地整備構想や臨海施設ゾーン整備構想など、多くの皆さんが参画して進めている地域計画も整備の方向性や事業内容が明らかになりつつあり、苫小牧港東港区の充実発展に合わせて整備推進を図ってまいります。

地方における経済情勢と財政事情は益々厳しさを増してきておりますが、町民の皆さんとの協働による新しい公共空間の創造と明るく自立した地域社会の実現に向けて、本町の魅力や潜在力を活かす試みに積極果敢に取り組む決意を新たにしているところであります。

本年も町民の皆さんのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

われている小惑星「イトカワ」からの帰還による未知との挑戦劇は全世界から注目され、その多くの方々に夢と希望、そして感動を与えてくれた年でもありました。また、道内におきましても「クロスカップリング」の技術開発で一躍有名になられた北海道大学名誉教授鈴木章氏のノーベル化学賞受賞や、北海道日本ハムファイターズが獲得した早稲田大学の斎藤佑樹投手など、明るい話題も多くあります。

さて、今年は軽舞小学校と富野小学校の2校が統合という形のなかで閉校を迎えようとしています。児童数の減少など止むを得ない実情とは申しながら、町民の皆様それぞれに感慨深い思いがあります。両校とも110余年という歴史の中で、地域における教育の中心であるとともに生活や文化の中心的役割も果たし、歴史深い伝統や優れた多くの卒業生を送りだしてくれましたことは町の宝でもあります。

地方分権における自治体の自己決定と自己責任、更には政策形成のあり方が今以上に問われる時代であります。議会改革については本年の改選に向け、議員定数の見直しをはじめ本会議場や議会ホームページの改善など議会活性化に努めます。議会といたしましても、町民の皆様のご意見を町政に反映させ、議会活動に積極的に取り組むと同時に、夢と希望として感動を与えるような活力と魅力あるまちづくりを目指して取り組んでいく所存であります。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。町民の皆さまのより一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。